

地域医療機関発行物へのニーズ

長崎大学附属図書館医学分館の ILL 統計より

松村悠子
長崎大学附属図書館

○概要

長崎大学附属図書館医学分館（以下、当館）における ILL 依頼・受付統計を分析し、当館の ILL 業務における課題および学術情報の電子化が進む近年における図書館での文献複写提供業務において地方大学図書館が期待される役割について考察する。

○分析対象

- ・ 当館における ILL 依頼・受付データ（2004～2011 年度分。業務システムより）
- ・ 当館における相互利用（依頼・受付）、カレント誌、オンラインジャーナルタイトル数（1981～2011 年度分。日本医学図書館協会加盟館統計より）

○分析結果および考察

依頼は 1998 年、受付は 2000 年をピークに、特に過去 10 年間は毎年減少している。

年度別に依頼・受付件数の多いタイトルを集計したところ、2007 年度を境に受付上位タイトルが本学紀要から長崎県内の医療機関の発行雑誌へと推移していた。2006 年より運用を開始した本学機関リポジトリ NAOSITE で紀要を無料公開していることの影響によるものと考えられる。

依頼に関しては、洋雑誌が上位タイトルに占める割合が減少し、国内の学会誌や商業出版誌がかわって上位へ浮上しており、オンラインジャーナルの契約やオープンアクセスによる影響が見受けられた。

○参考文献

- ・ 米田 奈穂 , 武内 八重子 , 加藤 晃一 [他], ビッグ・ディール後の ILL : 千葉大学附属図書館亥鼻分館における調査, 大学図書館研究 76, 74-81, 2006-03
- ・ 酒井 由紀子 , 園原 麻里, ILL 統計データ分析からみた医学文献流通における私大医学図書館の役割, 医学図書館 53(3), 233-238, 2006-09
- ・ 小山 憲司, ILL 文献複写の需給状況の変化と学術情報の電子化, 図書館雑誌 102(2), 97-99, 2008-02
- ・ 西 さやか, 東京医科大学図書館相互貸借統計分析よりみた相互貸借状況の歴史的变化, 医学図書館 58(2), 119-123, 2011-06
- ・ 小川 晋平, 電子ジャーナル時代の ILL : 大阪大学附属図書館生命科学図書館の事例から (<特集> 文献複写サービスの過去・現在・未来), 情報の科学と技術 61(10), 416-420, 2011-10-01